

様式第6号（第18条関係）

令和4年度 宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年 5月 日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市清武町加納乙1047番地
名 称	加納地域まちづくり協議会
代表者の氏名	会 長 中 原 健 一
電 話 番 号	0 9 8 5 - 8 4 - 0 5 0 0

令和4年6月10日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告・収支決算（見込）書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ニ) 備品管理台帳の写し
- (ホ) 地域協議会の意見書 [事業実施報告]

(様式第5号)

令和4年度 事業実施報告・収支決算（見込）書

清武地域自治区

加納地域まちづくり協議会

1 総括

当初計画していた12事業について、おおむね実施することができた。毎月の運営委員会では各部会の事業計画や事業内容について適宜に報告し合い、課題を共有した。各部会では、コロナ禍においても実施できるよう事業内容の工夫に努めた。まちづくりマルシェ開催事業では、加納地区交流センターと協働で実施し、関連する内容を統括しながら、幅広い活動で大勢の参加があり、盛会だった。また、防災事業においては、各自治会からの協力を得て、地域全体で取り組む避難訓練や防災講座を実施することができた。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	2,743,055	2,743,055	0	
繰越金	1,546,666	1,546,666	0	
自己資金	100	21	▲ 79	利息
協賛金	20,000	22,000	2,000	まちづくりマルシェ開催事業の協賛金
負担金	15,000	82,750	67,750	まちづくりマルシェ開催事業の加納地区交流センター負担金
雑収入	0	99,109	99,109	寄付金 まちづくりマルシェ売上金
合計	4,324,821	4,493,601	168,780	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	防犯活動推進事業	12年目	700,000	585,432	▲ 114,568	
防	地域防災活動推進事業	12年目	400,000	341,808	▲ 58,192	
環	環境美化活動事業	12年目	250,000	99,978	▲ 150,022	
環	花いっぱい活動推進事業	6年目	205,000	78,548	▲ 126,452	
再	まちづくりマルシェ開催事業	3年目	520,000	546,697	26,697	
再	イルミネーション事業	2年目	300,000	241,044	▲ 58,956	
健	いきいき健康推進事業	8年目	200,000	110,424	▲ 89,576	
伝	伝統文化継承事業	12年目	230,000	38,605	▲ 191,395	
伝	鯉のぼり掲揚事業	6年目	100,000	106,142	6,142	
他	加納地域まちづくり協議会だより広報事業	13年目	170,000	122,382	▲ 47,618	
他	まちづくり計画推進事業	3年目	330,000	135,267	▲ 194,733	
他	まちづくり協議会管理運営事業	13年目	919,821	863,232	▲ 56,589	
繰越金				1,224,042		
合計			4,324,821	4,493,601	168,780	

### 3 実施報告

#### [1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防犯活動推進事業 (防犯部会)	実施年数	12年目															
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし																
地域魅力発信プランとの関連	<p>3. えがおいっぱい ～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心なまちづくり</li> </ul>																	
目的 (期待される効果)	加納地域の住民が、安心して生活できる環境と地域の地盤を作ることを目的とする。																	
事業内容・手段	<p>(1) 「防犯パトロール活動」や「見守り活動(9年目)」等の実施</p> <p>【時期】 通年 【場所】 加納地域14地区内 【参加人数】 延べ1,000名程度 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青色防犯パトロール車(リース車)による巡回活動を、平日はほぼ毎日実施し、夜間も週に2～3回程度実施することができた。</li> <li>・青パト新規隊員を募集し、更新者も含めた講習会を実施することで巡回体制の強化を図った。</li> <li>・警察署や交番、地域安全協会、自治会等と協働で地域安全運動街頭キャンペーンを実施し、住民への防犯意識を促した。(4月・8月・10月)</li> <li>・自治会、青少年育成協議会、小中学校等と連携し、主要交差点等での愛の一声あいさつ運動を実施した。(4月・6月・9月・1月)</li> <li>・青少年育成協議会、交番等と協働で夕方の主要交差点付近での下校時の交通指導及び自転車安全運転指導を行った。(5月・11月)</li> <li>・青パト隊10周年記念式典を10月15日(土)に行い、防犯活動への取組に向けての共通認識を図ることができた。</li> <li>・きよたけ郷土祭りにおいて青パト隊員23名がパレードに参加し、安全・安心のまちづくりを呼びかけた。</li> </ul>																	
事業費	585,432円																	
対象者	加納地域住民																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青パト巡回関連</td> <td>610人</td> <td>青パト隊員 500人</td> </tr> <tr> <td>街頭キャンペーン</td> <td>119人</td> <td>隊員以外 115人</td> </tr> <tr> <td>あいさつ運動</td> <td>120人</td> <td>子ども見守り 170人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>849人</td> <td>785人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 参加者数は年間延べ人数(令和4年度は活動内容別の人数)</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	青パト巡回関連	610人	青パト隊員 500人	街頭キャンペーン	119人	隊員以外 115人	あいさつ運動	120人	子ども見守り 170人	合 計	849人	785人
年 度	令和4年度	令和3年度																
青パト巡回関連	610人	青パト隊員 500人																
街頭キャンペーン	119人	隊員以外 115人																
あいさつ運動	120人	子ども見守り 170人																
合 計	849人	785人																
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ毎日のように青パト巡回車が地域内を巡回している。犯罪の抑止力に貢献しているとの声があり、地域住民からの防犯活動への期待も大きい。</li> <li>・青パト車から流れるアナウンスが聞こえると安心感が増すと喜ばれているようだ。</li> </ul>																	

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・犯罪状況について、警察署、防災メールほか小中学校との情報交換を密にし、巡回開始時の引継ぎを徹底し、情報の共有を図った。	広報	⑤事業の周知	A	A	・青パト車による広報、協議会だよりの発行、青パト隊員の募集などにより、活動状況の周知については浸透している。
	②住民の参加	A	A	・青パト車や協議会だよりによる広報、各会議等での呼びかけを重ねることで、住民の防犯意識の向上が図られた。 ・個人で見守り活動をしている方も増えている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
	効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・まちづくり推進委員会の重点的な取組ともいえるものであり、住民の意識向上のための活動として取り組むべきである。		⑦住民の満足度	A	A
④各種団体との連携	A	A	・あいさつ運動では、主要交差点ほか、狭い通学路に立つボランティアの姿もあり、各団体と有機的に連携して活動することができた。	事業継続の必要性		⑦ 有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭キャンペーン時には、広報用の音声データの作成を行い、広報に努めた。</li> <li>・青パト車のマイク音量調節やコースなど住民からの要望についても耳を傾け、対応することができた。さらに広報内容についても継続検討していく。</li> <li>・各ボランティアの立つ場所、人員などが把握できていない状況があるので、地域全体のとりまとめができるようにしたい。</li> </ul>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済		
		<意見への対応>							
		<意見への対応>							
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済		
		<意見への対応>							
		<意見への対応>							

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	防犯活動推進事業	(防犯部会)
-----	----------	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	185,432	
2	繰越金	400,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	585,432	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	備考
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	259,352	消耗品費(マスク・ウエットティッシュ・SDカード他) 12,443 円 消耗品費(青パト10周年記念Tシャツ) 95,095 円 食糧費(お茶・スポーツドリンク・塩あめ他) 10,042 円 印刷費(チラシ) 2,270 円 燃料費(ガソリン) 139,502 円
5	役務費	86,320	リース車任意保険料(年払い) 86,320 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	239,760	軽自動車リース料 239,760 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	585,432	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	地域防災活動推進事業 (防災部会)	実施年数	1 2 年目												
事業期間	開始：平成 2 3 年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり														
目的 (期待される効果)	災害発生時に対応できる防災経験や防災意識の向上を目的とする。														
事業内容・手段	<p>(1) 「かまどベンチ」設置作業の実施 【実施時期】 7 月 1 0 日 (日) 【場 所】 加納公園こども広場 【参加人数】 4 3 名 【内 容】 ・かまどベンチの作り方や活用の仕方を、建築士会の方に教わりながら公園内にかまどベンチを設置した。 ・部会員だけでなく、中学生や地域からの参加者もあり、4 時間ほどの作業であった。</p> <p>(2) 「地域総合防災体験活動」の実施 【実施時期】 2 月 1 9 日 (日) 【場 所】 加納中学校グラウンド 【参加人数】 2 0 0 名程度 (一次避難参加者を含まず) 【内 容】 ・消防団の機材投入や防災体験、応急手当や給水車の体験等、防災に関する様々な知識や体験活動をスタンプラリー方式で実施した。 ・地震発生を想定し、各自治会の避難訓練としての参加もあり、現実的な場面に即したものとなった。</p> <p>(3) 「防災講座」の実施 【実施時期】 1 0 月 3 0 日 (日) 【場 所】 加納地区交流センター・加納公園こども広場 【参加人数】 6 5 名 【内 容】 ・地域内の安全や防災について、D I G (災害図上訓練) 方式で各自治会ごとに災害時の避難経路や課題等を出し合いながら地図上にまとめ、発表を行った。 ・かまどベンチを活用して、炊き出し (非常食の湯煎) を行い、試食した。</p> <p>(4) 防災スキルアップ研修会の実施 【実施時期】 ① 1 月 1 7 日 (火) ② 3 月 1 5 日 (水) 【場 所】 加納地区交流センター・学習室 【参加人数】 ① 2 7 名 ② 1 6 名 【内 容】 ・防災部会員及び地域内の防災士に参加を呼び掛け、災害時の応急手当について座学及び実技研修を行った。</p>														
事業費	3 4 1, 8 0 8 円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和 4 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>2 1 0 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>1 4 1 人</td> <td>2 6 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3 5 1 人</td> <td>2 6 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※(1)～(4) の各事業の参加者数の延べ人数</p>			年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	一般参加者	2 1 0 人	0 人	スタッフ	1 4 1 人	2 6 人	合 計	3 5 1 人	2 6 人
年 度	令和 4 年度	令和 3 年度													
一般参加者	2 1 0 人	0 人													
スタッフ	1 4 1 人	2 6 人													
合 計	3 5 1 人	2 6 人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災かまどベンチについての興味も高く、自治会でも製作したいとの声も聞かれた。</li> <li>・D I G は初めて行ったが、各地区ごとの地図上で具体的なシミュレーションができた と好評だった。</li> </ul>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・防災活動の必要性を感じる声が多く、防災意識の高さが感じられる。	広報	⑤事業の周知	A	—	・避難訓練や防災講座は、チラシや協議会だけでの広報活動のほか、自治会長への説明等を事前に行い、連携した取組ができた。
	②住民の参加	A	—	・個人あるいは自治会単位での事業参加が増えた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域住民の防災意識の向上を図る体験活動は大切であり、妥当である。	⑦住民の満足度	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	B	・各自治会や防災士、消防団等の協力をいただきながら、防災講座や避難訓練を実施することができた。			事業継続の必要性		⑦ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・DIGやシェイクアウト訓練、避難訓練等について、各自治会からの積極的な参加協力があり、一連の訓練事業としての成果があった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>				対応		未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>				対応		未・済	

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	地域防災活動推進事業	(防災部会)
-----	------------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	241,808	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	341,808	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	334,188	消耗品費(ゴム手袋・薪・ビニール袋他) 13,431 円 消耗品費(かまどベンチ一式) 253,000 円 食糧費(お弁当・お茶・飴他) 60,739 円 印刷費(チラシ) 7,018 円
5	役務費	4,620	傷害保険料 4,620 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	3,000	自家用車・機材借用料 3,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	341,808	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---



[2] 環境に係る事業

事業名	環境美化活動事業 (環境部会)	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>1. <u>はないっばい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～</p> <p>3. <u>えがおいっばい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化意識の啓発</li> <li>・河川環境美化活動</li> <li>・ボランティア活動の推進</li> </ul>														
目的 (期待される効果)	きれいで住み良いまちづくりを目指し、地域住民自らが率先して地域の美化に関心を持ち、実践できるような環境を作ることを目的とする。														
事業内容・手段	<p>(1) 「環境パトロールや不法投棄の監視等」の実施  <b>【実施時期】</b> 環境パトロール(7月のみ実施) 看板設置(通年)  <b>【場 所】</b> 加納地域14地区内(川沿い、山間部道路沿い他)  <b>【参加人数】</b> パトロール4名、ごみ集積所看板設置10地区  <b>【内 容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の山間部道路沿いや八重川の堤防沿い等を中心に実施した。</li> <li>・不法投棄禁止の看板設置箇所を検討して設置するほか、各自治会のゴミ集積所のごみ分別啓発看板を設置して地域住民への啓発を行った。</li> </ul> <p>(2) 「八重川堤防沿いの環境整備」の実施  <b>【実施時期】</b> 年3回(①6月26日②9月17日中止③11月27日)  <b>【場 所】</b> 加納地域内八重川両岸  <b>【参加人数】</b> ①124名②天候不良のため中止③105名  <b>【内 容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八重川河川愛護会と連携し、協働作業で取り組んだ。</li> <li>・各自治会、諸団体、中学生ボランティア、市職員絆プロジェクト等と連携し、ごみ拾い活動を呼びかけ、多くの参加があった。</li> <li>・青パト車による巡回アナウンスでごみの分別や環境美化をPRした。</li> </ul>														
事業費	99,978円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>198人</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>45人</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>243人</td> <td>273人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年間の活動参加者の延べ人数</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	198人	157人	スタッフ	45人	116人	合 計	243人	273人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	198人	157人													
スタッフ	45人	116人													
合 計	243人	273人													
住民の声(アンケートの結果等)	・ごみ集積所等の分別看板の設置の効果は大きいという声があった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	・年々増えていく不法投棄やごみの分別の不十分さなどを実感している。自治会長との意見交換会でごみ問題などの悩みを伺っている。	広報	⑤事業の周知	B	B	・環境パトロールの現況報告をまちだよりで行ったり、ごみ拾い活動の案内チラシを事前に配布したりするなど事業の周知を図った。
	②住民の参加	A	B	・中学生ボランティア等八重川沿いのごみ拾い活動への参加の輪が徐々に広がりつつある。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の環境問題について、自治会や住民への情報発信や美化活動の推進は欠かせないものであり、妥当である。	事業の効果	⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	A	B	・各自治会会長の要望もあり、今年度もゴミの分別看板を作成し、設置の協力をいただいた。			事業継続の必要性		⑦・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・中学生ボランティアの参加が多い時には、活動場所の割り振りなど臨機応変に行うことができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応		未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応		未・済

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	環境美化活動事業	(環境部会)
-----	----------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金		
2	繰越金	99,978	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	99,978	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	92,738	消耗品費(ゴミ分別看板) 49,500 円 消耗品費(草刈り替刃・駆除スプレー・軍手他) 17,081 円 参加賞(ウエットティッシュ) 6,600 円 印刷費(チラシ) 3,317 円 食糧費(お茶・パン) 16,240 円
5	役務費	3,240	傷害保険料 3,240 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	4,000	自家用車借用料 4,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	99,978	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	花いっぱい活動推進事業 (環境部会)	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. ほないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・ボランティア活動の推進														
目的 (期待される効果)	花や緑があふれる美しい景観をつくることにより、地域全体に活力を生むことを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 「花いっぱい植栽活動」の実施 ①ものづくり体験教室(造園) 【実施時期】11月19日(土) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール 【参加人数】受講者21名(スタッフ15名) 【内 容】 ・宮崎県職業能力開発協会から講師を派遣していただき、ものづくり体験教室(造園)を実施した。ものづくりマイスターからの丁寧な指導が好評だった。 ②花の植栽活動(ひまわりとコスモス) 【実施時期】種蒔き作業8月21日(日) 開花10月中旬～10月下旬 【場 所】加納小学校正門横の畑及び学校農園 【参加人数】延べ75名 【内 容】 ・学校正門付近の畑と学校農園・実習田で、畑の耕耘作業、ひまわりとコスモスの種蒔き、草抜き等植栽及び管理を行った。部会員だけでなく、多くのボランティアの方に畑の準備や草刈り等、協力いただいた。 ・開花の時期には、小学生だけでなく、保護者や地域住民の方々に喜ばれた。														
事業費	78,548円														
対象者	清武・加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>35人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>76人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>111人</td> <td>92人</td> </tr> </tbody> </table> ※活動参加者の延べ人数			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	35人	62人	スタッフ	76人	30人	合 計	111人	92人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	35人	62人													
スタッフ	76人	30人													
合 計	111人	92人													
住民の声(アンケートの結果等)	・ものづくり体験教室は、大変好評であり、今後の開催を望む声が多くあった。 ・休耕地の活用について、学校や自治会等と連携しながら進めていくとよい。 ・開花時期を検討し、多くの方に参加協力や鑑賞をしてもらえるようにするとよい。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域内の休耕地の有効活用ができないかという住民の声もあり、実施した。学校正門周辺が花に囲まれて明るくなったとの声があった。	広報	⑤事業の周知	A	B	・まちだよりやLINE、Facebook等で事業の様子を伝えるところ、反応も大きかった。
	②住民の参加	A	A	・植栽活動について、主体的に参加くださった一般ボランティアの方がいた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域内に花や緑を増やす取組は、学校や住民からの要望も強いことから、妥当である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・宮崎県職業能力開発協会のサポートを受けて、ものづくり体験教室を実施することができた。		事業継続の必要性		○ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・宮崎県職業能力開発協会と連絡調整しながら、計画的に進めることができた。 ・学校や一般ボランティアの協力もあり、花の植栽活動を進めることができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応		未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応		未・済

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	花いっぱい活動推進事業	(環境部会)
-----	-------------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	38,548	
2	繰越金	40,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	78,548	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	68,548	消耗品費(肥料・種等) 25,371 円 食糧費(弁当・お茶) 19,147 円 参加賞(ごみ袋・お菓子他) 17,300 円 燃料費(ガソリン) 6,730 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	10,000	トラクター・自家用車借用料 10,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	78,548	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[ 3 ] 地域再生に係る事業

事業名	まちづくりマルシェ開催事業 (マルシェ実行委員会)	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>1. はないっぱい ～心が豊かになるきれいなまちへ～</p> <p>2. はらいっぱい ～お腹も心も満たされるまちへ～</p> <p>3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花と緑があふれる美しい景観づくり</li> <li>・地産地消の推進や食文化の継承</li> <li>・地域住民・世代間交流の場づくり</li> </ul>														
目的 (期待される効果)	地域の食や文化にふれる機会を通して、地域住民の交流を深め、地域を活性化することを目的とする。														
事業内容・手段	<p>(1) 「まちづくりマルシェ」の開催</p> <p>【実施時期】 11月19日(土)20日(日)加納地区文化祭との共催</p> <p>【場 所】 加納地区交流センター・加納公園</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の食や文化に親しむ機会として、加納地区文化祭との共催で実施した。</li> <li>・各自治会、保育園、小・中学校、各団体、地元の事業者等と連携し、農産物や雑貨、加工品、テイクアウト食品等の販売や体験活動など、世代間の親睦や地域住民の交流の場となった。</li> <li>・スタンプラリーで体験活動を行い、多くの入場者が参加し、楽しんでいた。環境部会(ごみの分別)、健康福祉部会(健康チェック)、防災部会(水消火器、煙体験)など、約360名が参加した。</li> <li>・マルシェ実行委員会には、加納小学校PTA事業部も加わり、当日の縁日広場では子どもたちが楽しめる内容で好評だった。</li> <li>・宮崎県職業能力開発協会のご協力により、19日(土)に3つの分野「造園」「木工」「板金」で、ものづくり体験を開催した。</li> </ul>														
事業費	546,697円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,500人</td> <td>932人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>372人</td> <td>151人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,872人</td> <td>1,083人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前日準備及び当日の参加者延べ人数</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1,500人	932人	スタッフ	372人	151人	合 計	1,872人	1,083人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	1,500人	932人													
スタッフ	372人	151人													
合 計	1,872人	1,083人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加納地区文化祭との共催で大変盛り上がった。</li> <li>・食のイベントなので、出店を多くして食の提供を増やしてほしい。</li> <li>・いろいろなアイデアや人を巻き込み、さらに良いものを作り上げてほしい。</li> <li>・自治会や小学校事業部の参加もあり、地域ぐるみの取組になった。</li> </ul>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・加納地域全体でのイベントを望む声が大きく、ニーズがある。	広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシやポスター、広報紙などあらゆる機会を活用して周知を行った。地域内の店舗等へのポスター掲示も行った。直前に新聞折込チラシも活用した。
	②住民の参加	A	A	・地区文化祭との協働開催で、地域住民の参加が昨年以上に多かった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・加納地域の特色を生かして、地域全体で取り組むイベントであるため、妥当である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・自治会や小学校、PTA、学生ボランティアの協力もあり、定着させていきたい。	事業継続の必要性				④・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校、高校、大学からの学生ボランティアやPTAの協力もあり、若い世代を取り込んだイベントになった。</li> <li>・地域の事業者や生産者との交流も深まり、地域おこしに役立つイベントに成長させたい。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	



(様式第7号)

## 事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	まちづくりマルシェ開催事業	(マルシェ実行委員会)
-----	---------------	-------------

## (1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	249,847	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金	22,000	出店者からの協賛金
5	負担金	82,750	加納地区交流センターと折半分(音響・ステージ設営費)
6	雑収入	92,100	野菜の売上金
7	合計(A)	546,697	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	360,774	消耗品費(レジ袋・容器・防水スプレー他) 19,559 円 印刷費(チラシ) 20,472 円 食糧費(お弁当・お茶他) 66,556 円 ボランティアTシャツ 56,265 円 材料費(きゅうり・大根・ピーマン・ズッキーニ・ミニトマト他) 101,000 円 消耗品(エコ風船・ヘリウムガス) 38,225 円 抽選会賞品・スタンプラリー景品他 58,697 円
5	役務費	14,423	折込チラシ配布料 8,343 円 賠償・レクリエーション保険料 6,080 円
6	委託料	165,500	音響設営費 50,000 円 ステージ設営費 115,500 円
7	使用料及び賃借料	6,000	自家用車借用料 6,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	546,697	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	イルミネーション事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民・世代間交流の場づくり</li> </ul>														
目的 (期待される効果)	<p>まちづくりの拠点である加納地区交流センターの認知度を高めるとともに、地域住民に憩いの場を提供することを目的とする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) イルミネーション事業の実施  <b>【実施時期】</b> 11月30日(水)、12月1日(木)設置準備  12月3日(土)点灯式  1月21日(土)撤去作業  <b>【場 所】</b> 加納地区交流センター  <b>【参加人数】</b> 準備30名 点灯式120名程度 撤去22名  <b>【内 容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加納地区交流センターの建物周辺をイルミネーションで飾り付け、憩いの場を提供した。デザインや設置は手作りでを行い、昨年度使用したものと新たに加えた材料でより充実したイルミネーションとなった。</li> <li>・点灯式当日は地域の子どもたちによるハンドベル演奏を行い、クリスマスムードを高めた。点灯式に集まった皆さんとともにカウントダウンを行い、点灯した。</li> <li>・約一ヶ月半の期間中、地域の方が見に来られたり、写真撮影されたりする姿も見られた。</li> </ul>														
事業費	241,044円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>120人</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>52人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>172人</td> <td>234人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※準備、点灯式、撤去作業の延べ人数</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	120人	200人	スタッフ	52人	34人	合 計	172人	234人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	120人	200人													
スタッフ	52人	34人													
合 計	172人	234人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なところでイルミネーションが楽しめて嬉しい。散歩しながら楽しむことができた。</li> <li>・手作りとは思えないほど良い出来栄である。今後も続けてほしい。</li> </ul>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域内で楽しめる機会や場所を望む声は多い。	広報	⑤事業の周知	A	A	点灯式を実施し、周知活動もチラシやSNSを活用して行った。
	②住民の参加	A	A	点灯式には子どもから大人まで多くの方が参加し、みんなで楽しむことができた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の拠点としてまちづくり協議会や交流センターが存在することを示す機会として有意義であり、妥当である。	事業の必要性	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	B	準備に関わる段階から、他の団体からの協力を得られるように進めていきたい。			事業継続の必要性	④	無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・昨年度よりもバージョンアップしたイルミネーションであった。飾りつけや撤去作業へのボランティア協力が多かった。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応		対応		未・済
	<意見への対応>								未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応		対応		未・済
	<意見への対応>								未・済

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	イルミネーション事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	91,044	
2	繰越金	150,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	241,044	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	240,494	消耗品費(角材・コンパネ・延長コード・ボックス他) 42,781 円 消耗品費(イルミネーションライト) 158,661 円 印刷費(チラシ) 3,580 円 食糧費(お菓子・お弁当・お茶) 13,938 円 参加賞(お菓子・QUOカード) 21,534 円
5	役務費	550	振込手数料 550 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	241,044	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[4] 健康づくりに係る事業

事業名	いきいき健康推進事業 (健康福祉部会)	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	2. はらっぱい ～おなかも心も満たされるまちへ～ 3. えがおっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・健康増進 ・スポーツ交流 ・地域住民・世代間の交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	地域住民の健康増進や世代間交流を推進し、明るく豊かな地域を作ることを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 「スポーツ体験活動」や「健康講座」の実施 ①いきいき健康トライアルの実施 【実施時期】10月2日(日) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール 【参加人数】43名 【内 容】 ・公式輪投げ、ミニボウリング、ポケットボール、カラーリング、体力オセロゲーム、握力測定など様々な運動を通して体を動かす楽しさを体感することができた。子どもから大人まで楽しめた。  ②グラウンドゴルフ大会の実施 【実施時期】11月5日(土) 【場 所】加納公園 多目的広場A/B 【参加人数】73名 【内 容】 ・5名程度のグループを編成し、2ラウンドのゲームを楽しんだ。お楽しみ抽選会を実施し、成績や順位に関わらず、参加者全員に賞品を進呈した。  ③ウォーキング講座の実施 【実施時期】12月10日(土) 【場 所】加納公園 多目的広場C 【参加人数】62名 【内 容】 ・講師 河野 江美利先生の指導による屋外でのウォーキング講座を行った。実技を通して、正しい姿勢での歩き方を興味深く学ぶことができた。														
事業費	110,424円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>119人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>59人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>178人</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> ※参加者数は3事業の延べ人数			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	119人	29人	スタッフ	59人	21人	合 計	178人	50人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	119人	29人													
スタッフ	59人	21人													
合 計	178人	50人													
住民の声 (アンケートの結果等)	・専門性の高い講師を招いての講座は大変良い。説得力がある。 ・広報の仕方を工夫してPRし、もっと多くの方が体験できるとよい。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・コロナ禍だからこそ健康づくりへの関心は高く、健康講座やスポーツの機会を望む声がある。	広報	⑤事業の周知	B	B	・チラシ配布やSNSによる広報を行った。事前及び当日の申し込み者を受け付けた。
	②住民の参加	A	A	・どの事業も、久しぶりに体を動かされたことを喜んでおられた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・健康づくりへのニーズはあるが、自治会として取り組めないところもあることから、妥当である。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	・宮崎県健康づくり協会や地域内の福祉事業所より機材を借用したり、各団体にも参加を呼びかけたりした。			事業継続の必要性		①有 ・ 無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングについて学ぶ機会はあまりなかったので、専門家による指導は興味深く、大変よかった。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	いきいき健康推進事業	(健康福祉部会)
-----	------------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	110,424	
2	繰越金		
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	110,424	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	10,000	講師謝礼金 10,000 円
3	旅費		
4	需用費	89,904	食糧費(お弁当・お茶) 23,858 円 印刷費(チラシ) 10,770 円 燃料費(ガソリン) 504 円 消耗品費(参加賞・賞品) 54,772 円
5	役務費	3,520	レクリエーション保険料(グラウンドゴルフ大会・ウォーキング) 3,520 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	7,000	機材・自家用車借用料 7,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	110,424	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[5] 伝統文化に関する事業

事業名	伝統文化継承事業 (教育文化部会)	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進</li> <li>・伝統文化の継承</li> <li>・地域住民・世代間の交流の場づくり</li> </ul>														
目的 (期待される効果)	郷土の歴史や文化に触れる活動を通して、伝統文化の礎を再確認し、更に継承していくことを目的とする。														
事業内容・手段	<p>(1) 伝統文化継承活動の実施</p> <p>①神楽舞の継承及び支援活動の実施  <b>【実施時期】</b> 12月、3月  <b>【場 所】</b> 船引神社、中野神社など  <b>【参加人数】</b> 4名  <b>【内 容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元旦祭や春神楽の時に、神社周辺に垂れ幕やのぼり旗を掲げ、会場の雰囲気盛り上げた。</li> <li>・次年度の三神社神楽まつりの日程や内容を協議した。</li> </ul> <p>②安井息軒記念館の歴史講座及び見学の実施  <b>【実施時期】</b> 1月15日(日)  <b>【場 所】</b> 安井息軒記念館  <b>【参加人数】</b> 54名  <b>【内 容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングパンフレット等を作成し、参加者に配布した。天候不良のため、当日の史跡めぐりウォーキングは実施できなかった。</li> <li>・安井息軒記念館と連携し、記念館の展示内容及び生家の見学、歴史講座を行った。</li> </ul> <p>③「ものづくり体験教室」の実施  <b>【実施時期】</b> 11月19日(土) まちづくりマルシェと同時開催  <b>【場 所】</b> 加納地区交流センター  <b>【参加人数】</b> 43名  <b>【内 容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県職業能力開発協会から講師を派遣していただき、「木工(スライド式本立て)」や「板金(表札)」の、ものづくり体験教室を実施した。</li> </ul>														
事業費	38,605円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>62人</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>39人</td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>101人</td> <td>324人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3つの活動についての延べ人数</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	62人	250人	スタッフ	39人	74人	合 計	101人	324人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	62人	250人													
スタッフ	39人	74人													
合 計	101人	324人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度三神社神楽まつりの開催を熱望する参加者の声があった。</li> <li>・ものづくりマイスターの指導が丁寧で分かりやすかった。</li> </ul>														



◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・参加者からの問い合わせもあり、地域の歴史や文化について学びたいという住民のニーズは大きい。	広報	⑤事業の周知	B	B	・参加者募集のチラシやSNS発信により参加者の募集を行った。
	②住民の参加	A	—	・地域の歴史や文化への興味関心の高い方が多く、外国籍の方からの参加もあった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・本協議会が作成した「お宝発見」冊子を利用して、地域の良さや歴史を学ぶ良い取組であり、妥当である。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	B	・ウォーキングはできなかったが、安井息軒記念館と連携して、雨天時の計画を準備していたことが功を奏した。			事業継続の必要性		⑦ 有 ・ 無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時の内容も準備していたので、参加者への連絡等をスムーズに行うことができた。</li> <li>・安井息軒記念館と協力してウォーキングパンフレットを作成・配布し、資料として活用することができた。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応		未・済
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応		未・済

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	伝統文化継承事業	(教育文化部会)
-----	----------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金		
2	繰越金	38,605	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	38,605	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	37,275	印刷費(チラシ) 9,138 円 印刷費(ウォーキングパンフレット) 2,819 円 食糧費(お茶・お弁当) 10,468 円 参加賞(おにぎり弁当) 14,850 円
5	役務費	1,330	傷害保険料 1,330 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	38,605	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	鯉のぼり掲揚事業 (教育文化部会)	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>3. えがおいっぱい ～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化の継承</li> <li>・地域住民・世代間交流の場づくり</li> </ul>														
目的 (期待される効果)	子どもの健やかな成長や健康、安全を願い、地域全体で祝うことを目的とする。														
事業内容・手段	<p>「鯉のぼり掲揚」の実施  <b>【実施時期】</b> 令和4年5月22日(日) (前年度分の撤去)  令和5年3月18日(土) (今年度分の掲揚)  <b>【場 所】</b> 加納公園 こども広場  <b>【内 容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年5月に、3月に掲揚した鯉のぼりの撤去活動を行った。</li> <li>・掲揚期間中、強風により支柱が傾いたり、鯉のぼりやロープが外れたこともあり、調整が必要な状況が度々生じた。</li> <li>・掲揚にあたっては、部会員や役員、地域の方の協力をいただきながら準備を進め、竹の移動や設置、鯉のぼり付け等を行うことができた。</li> <li>・鯉のぼり掲揚事業についてチラシを作成し、地域住民に広報した。</li> <li>・掲揚イベントとして、和太鼓の演奏で会場を盛り上げ、保育園の園児も掲揚に参加できた。</li> <li>・地域の方からの鯉のぼりの寄贈が2件あった。</li> </ul>														
事業費	106,142円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>100人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>45人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>145人</td> <td>42人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※5月鯉のぼり撤去作業、3月掲揚作業等参加者延べ人数</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	100人	6人	スタッフ	45人	36人	合 計	145人	42人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	100人	6人													
スタッフ	45人	36人													
合 計	145人	42人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場に掲揚された鯉のぼりを子ども連れで見に来られる方もいて、見るだけで楽しい気分になると喜ばれていた。</li> </ul>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・各家庭での鯉のぼり掲揚が難しい状況であるので、楽しみにされている方が多い。	広報	⑤事業の周知	A	B	・鯉のぼり掲揚事業について、まちだよりやLINE、Facebookでも広報した。
	②住民の参加	A	A	・地域の方からの鯉のぼりの寄贈や、支柱竹の提供の協力があった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域ぐるみで、子どもの成長を願う思いが、目に見える形で実現されるので、妥当である。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	B	・地域の保育園や民生委員児童委員協議会にも協力をいただいた。			事業継続の必要性		④有 ・ 無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・掲揚イベントを開催し、保育園児や一般の方々にも楽しんでもらった。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	鯉のぼり掲揚事業	(教育文化部会)
-----	----------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	86,142	
2	繰越金	20,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	106,142	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	75,262	消耗品費(砂・番線・杭他) 5,716 円 消耗品費(鯉のぼり) 48,125 円 食糧費(軽食) 2,095 円 食糧費(軽食) 2,676 円 参加賞(お菓子他) 16,650 円
5	役務費	15,880	賠償責任保険料(掲揚期間中) 15,880 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	15,000	自家用車・トラック・機材等借用料 15,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	106,142	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[6] その他の事業

事業名	加納地域まちづくり協議会だより広報事業 (広報部会)	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度		終了：なし												
地域魅力発信プランとの関連	1. はないっぱい ~心が豊かになるきれいなまちへ~ 2. はらいっぱい ~お腹も心も満たされるまちへ~ 3. えがおいっぱい ~人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ~														
目的 (期待される効果)	まちづくり協議会の役割や活動に対する地域住民の理解を深め、まちづくりへの参画につなげることを目的とする。														
事業内容・手段	「加納地域まちづくり協議会だより」の発行 <b>【実施時期】</b> 年3回(6月・12月・3月)発行 <b>【部数】</b> 各5,000部 <b>【規格】</b> A4サイズ両面カラー印刷(8P構成) <b>【内容】</b> ・事業内容の周知やPR活動報告のほか、地域で活躍する個人や団体の紹介も取り入れて掲載した。 ・幅広い世代に読んでもらえるように、分かりやすく読みやすい紙面づくりを目指した。 ・事業内容が分かるように写真やイラストを多く使って作成した。 <b>【配付方法】</b> ・自治会加入世帯は、自治会を通して各世帯に配付した。 ・清武総合支所や宮崎市社会福祉協議会清武支所、文化会館、四季の夢、他の公共機関、事業所、近隣の大学等に設置し、配付や回覧等を依頼した。 ・事業内容によっては、福祉施設や児童センター、保育所等にも設置していただいた。 ・小・中学校等には、PTA戸数で配付した。 ・他地域のまちづくり推進委員会にも送付し、お互いの取組についての情報交換に役立てた。														
事業費	122,382円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	11人	10人	合計	11人	10人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	11人	10人													
合計	11人	10人													
住民の声(アンケートの結果等)	・各部会の事業について、写真を活用した紙面づくりで工夫し、読みやすいと大変好評である。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・各部会の取組の状況が紙面いっぱいにとまとめられ、分かりやすいとの声がある。	広報	⑤事業の周知	A	A	・地域住民の方にまちづくり協議会の各事業や活動を知ってもらえるように、活動の予告などでPRを行った。
	②住民の参加	A	A	・事業への住民参加や認知度も少しずつ高まっている。もっと住民が参画しているような内容を工夫したい。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・まちだより発行を通して、各事業の発信や推進につながっていることから、妥当である。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	・他のまちづくり協議会との広報紙のやり取りをすることで、参考となる事業を知ることができた。			事業継続の必要性		①有 ・ 無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>・8ページにわたり、充実した内容で発行できて良かった。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>								

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	加納地域まちづくり協議会だより広報事業	(広報部会)
-----	---------------------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	72,382	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	122,382	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	122,382	まちだより37号印刷費 5,000部 35,970 円 まちだより38号印刷費 5,000部 35,882 円 まちだより39号印刷費 5,000部(特急仕上げ) 50,530 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	122,382	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---



事業名	まちづくり計画推進事業 (事務局)	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	1. <u>はないっばい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. <u>はらいっばい</u> ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. <u>えがおいっばい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～														
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりの実現に向けて、まちづくり協議会の認知度を向上させ、部会員や支援者を増やすことや各種団体との連携強化につなげることを目的とする。														
事業内容・手段	「住民主体のまちづくりのための計画推進」の実施 【時期】通年 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業開催時や街頭キャンペーン時に部会員や支援者(サポーター)の募集チラシの配布を行った。</li> <li>・まちづくり協議会の事業や活動の周知活動として、他の推進委員会等にまちだよりやチラシ等を郵送し、情報交換を行った。</li> <li>・協議会のPRとして令和5年度まちづくりカレンダーを作成し、12月末に各世帯に配付し、公共機関や地域内の事業所等に設置した。</li> <li>・視察研修として、1月27日(金)に都城市の市街地中核施設Mallmall(まるまる)にある「都城市立図書館」「まちなか広場」「まちなか交流センター」「都城市保健センター」など、あらゆる世代が集い交流する施設等の見学及び都城島津邸の文化財見学等、地域の活性化や歴史の継承の在り方などを学んだ。役員、部会員、事務局員計14名が参加した。</li> </ul>														
事業費	135,267円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>8人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>14人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>22人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※まちづくりカレンダーへの参加者及び視察研修への参加者等の延べ人数</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	8人	0人	スタッフ	14人	11人	合 計	22人	11人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	8人	0人													
スタッフ	14人	11人													
合 計	22人	11人													
住民の声(アンケートの結果等)	特にアンケートは取っていない。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	・自治会長や各団体の会長等との意見交換会を年に2回開催し、意見や要望を伺う機会としている。	広報	⑤事業の周知	B	A	・カレンダー写真の応募チラシを各世帯や中学校、事業所等に配付したり、Facebookや公式LINEも活用したりした。 ・事業開催時には、部会員募集チラシも配布し、呼びかけた。
	②住民の参加	B	B	・まちづくりカレンダーの写真を住民から募集した。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・各事業の開催時にPR活動の機会を設けることで、幅広い人材へ協力を求めることができることから、妥当である。	⑦住民の満足度				B
	④各種団体との連携	A	B	・いろいろな機会を活用し、広報紙をもとに活動の紹介をしたり、協力を呼びかけたりした。			事業継続の必要性		⑦ 無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・地域住民から応募のあった写真を使ってカレンダーを作成し、令和5年（1月から12月まで）版を12月末に配布した。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>							対応	未・済

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	まちづくり計画推進事業	(事務局)
-----	-------------	-------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	55,267	
2	繰越金	80,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	135,267	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	3,000	謝金(マイクロバス運転) 3,000 円
3	旅費	26,400	旅費(日当)2,200×12名 26,400 円
4	需用費	85,417	消耗品費(プリント用紙・まちづくりタオル) 51,700 円 印刷費(まちづくりカレンダー・チラシ) 25,660 円 参加賞(QUOカード) 6,240 円 燃料費(軽油) 1,817 円
5	役務費	2,080	通信運搬費(切手) 2,080 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	17,050	マイクロバス借り上げ料 17,050 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	負担金	1,320	施設観覧料 1,320 円
12	公課費		
13	合計(B)	135,267	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	まちづくり協議会管理運営事業 (事務局)	実施年数	13年目																					
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし																						
地域魅力発信プランとの関連	<p>1. <u>はないっばい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～</p> <p>2. <u>はらいっばい</u> ～お腹も心も満たされるまちへ～</p> <p>3. <u>えがおいっばい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～</p>																							
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりを目指し、各部会や諸団体と連携して円滑な事業運営や備品の整備・管理を行うことを目的とする。																							
事業内容・手段	<p>「まちづくり協議会管理運営」の実施</p> <p>【時期】 通年</p> <p>【場所】 加納地区交流センター内 加納地域まちづくり協議会事務局</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会12回、三役会2回、各部会等総計35回、自治会長等との意見交換会2回、他団体との会議や打ち合わせを2回実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期や中止となった事業や会合もあった。</li> <li>4月総会については、昨年度に続き、3度目の書面決議となった。</li> <li>まちづくり協議会と各種団体等とのスムーズな連携を図るよう連絡調整を行い、事業の運営に当たった。</li> <li>事務局内の備品整理や適切な会計管理を行い、円滑な事業運営の実施に努めた。</li> <li>LINEやFacebook等を活用し、事業や各部会の活動等の情報発信を行った。公式ラインアカウントを開設した。</li> </ul>																							
事業費	863,232円																							
対象者	加納地域まちづくり協議会会員及び関係団体																							
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総会</td> <td>90人</td> <td>106人</td> </tr> <tr> <td>役員会等</td> <td>140人</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td>意見交換会</td> <td>65人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>各部会等</td> <td>480人</td> <td>485人</td> </tr> <tr> <td>部会員会議</td> <td>75人</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>850人</td> <td>831人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年間の延べ人数 総会は書面決議数</p>			年度	令和4年度	令和3年度	総会	90人	106人	役員会等	140人	130人	意見交換会	65人	26人	各部会等	480人	485人	部会員会議	75人	84人	合計	850人	831人
年度	令和4年度	令和3年度																						
総会	90人	106人																						
役員会等	140人	130人																						
意見交換会	65人	26人																						
各部会等	480人	485人																						
部会員会議	75人	84人																						
合計	850人	831人																						
住民の声 (アンケートの結果等)	・特にアンケート等は取っていない。																							

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	・地域ニーズをしっかりと把握できる仕組みを構築したい。	広報	⑤事業の周知	B	B	・まちだよりや掲示ポスター、Facebookなどにより広報活動を行ったが、情報の伝達に苦慮した場面もあった。
	②住民の参加	B	B	・会員の固定化がみられることから、参画を促していきたい。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・地域内の各団体を繋げる役割を果たす意義は大きく、妥当である。	⑦住民の満足度				B
	④各種団体との連携	B	B	・事業の展開を図るうえで、各団体や自治会との意見交換会を2回開催できたことは大変効果的だった。各団体との連携を強め、住民の参加を広げていきたい。			事業継続の必要性		⑦ 無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>・意見交換会の構成を自治会長だけでなく、小・中PTA会長、青少協会長、民児協会長を交えたことにより、幅広い意見の交換ができた。</p>								
	<意見への対応>								
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p> <p style="text-align: right;">対応 未・済</p>								

(様式第7号)

## 事業別収支計算書

清武地域自治区  
加納地域まちづくり協議会

事業名	まちづくり協議会管理運営事業	(事務局)
-----	----------------	-------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	388,119	
2	繰越金	468,083	
3	自己資金	21	利息
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入	7,009	寄付金(きよたけ観光振興会より)
7	合計(A)	863,232	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	備考
1	貸金		
2	報償費	268,069	時間外手当 268,069 円
3	旅費	56,000	旅費(役員経費) 54,000 円 旅費(市内会議等) 2,000 円
4	需用費	220,795	消耗品費(コピー用紙・封筒・文具代ほか) 49,936 円 消耗品費(コピー機カウンター料) 79,505 円 食糧費(お茶) 91,354 円
5	役務費	212,958	通信運搬費(はがき・切手代) 65,444 円 通信運搬費(電話代) 84,514 円 ボランティア保険料 @350円×180名分 63,000 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	16,060	コピー機再リース料 16,060 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	89,350	パンフレットスタンド 24,530 円 タープテント 22,800 円 オープン収納庫 42,020 円
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	863,232	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年 5月 日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市清武町加納乙1047番地  
名 称 加納地域まちづくり協議会  
代表者の氏名 会長 中原 健一 印  
電話番号 0985-84-0500

令和4年6月10日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、決算において、1,224,042円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添付書類

令和4年度収支決算（見込）書